

日本医療情報学会関西支部 2021 年度第 1 回講演会
関西医療情報処理懇談会 (KMI) 第 64 回例会
関西医療情報技師会 第 39 回勉強会
合同講演会

昨今スマートウォッチに代表されるウェアラブルデバイスが普及しつつあり、個人が日々のバイタル情報を健康管理に利用し、ウェアラブルデバイスは身近なものになりつつある。そういったウェアラブルデバイスから得られるバイタル情報を医療に活かすための研究が進んでいる一方で、法的な規制の問題や有用性を実証していくところに課題があると考えている。本講演会では、法規制・保険適応の観点からの講演、ウェアラブルデバイスを利用した研究事例の講演を通して、実臨床での課題やその可能性について議論できる会としたい。

テーマ：「ウェアラブルデバイスの課題と可能性」

日 時：2021 年 9 月 11 日（土）13：00～16：00

場 所：WebEX Events を使った Webinar による開催

定 員：800 名

参加費：無料

医療情報技師ポイント：4 ポイント

*** プログラム ***

開会挨拶・趣旨説明

日本医療情報学会 関西支部

西川 彰則（和歌山県立医科大学）

13：00～13：10

講演 1：鈴木 孝司（医療機器センター）

13：10～13：45

「医療機器の Dx と法規制・保険適用の考え方」

（講演 30 分、質疑 5 分）

講演 2：小西 正三（大阪大学医学部附属病院 医療情報部・循環器内科） 13：45～14：20

「ウェアラブルデバイスを用いた、心不全見守りへの取り組み」

（講演 30 分、質疑 5 分）

休憩（14：20～14：25）

講演 3：坂野 紀子（岡山大学 心臓血管外科）

14：25～15：00

「市民マラソンランナーの走行時持続心電図モニタリング」

（講演 30 分、質疑 5 分）

講演 4 : 藤原 幸一 (名古屋大学大学院 工学研究科) 15 : 00 ~ 15 : 35

「心拍変動解析と機械学習の融合によるてんかん発作予知 AI」

(講演 30 分、質疑 5 分)

総合討論

15 : 35 ~ 15 : 50

閉会挨拶 日本医療情報学会 関西支部長・KMI 会長

黒田 知宏 (京都大学)

15 : 50 ~ 16 : 00